

es

よく



# 2030 SDGs

Vol.22

目標で、環境や人権など、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットから構成されています。

毎月第3水曜掲載

## ものづくりが人を結ぶ

1千社以上の事業所が集積する「LINKAI横浜金沢」(横浜市金沢区・金沢臨海部産業団地)で、地元有志からなるNPO法人「Aozora Factory」が地域の魅力を発信し、新たな価値を創造しようと頑張っている。ものづくりの技術を生かしたワークショップ型のイベント開催を活動の柱としながらも、法人化から5年が経過して活動は多様化。人と人とのつながりを多く生み出している。

(下屋 聡)

### 横浜 NPO 法人が魅力発信

#### 親子らの歓声響く

LINKAIにある企業や、大学などが出展した21のブースから親子らの歓声が聞こえてくる。ここは、今年11日に開かれたイベント「Aozora Factory 2023」の会場、同区の泥亀公園だ。着色した液体がゆっくりと落ちていくさまを楽しむオイルモーション作りや、廃棄される予定だった横断幕を活用した小物入れの制作…。ワークショップで体



11日のイベントにはたくさん家族連れらが訪れた。「Aozora Factory」で活動を共にする(左から)友野さん、代表の本多さん、梅宮さん。いずれも横浜市金沢区

#### 企業間交流も実現

団体は同年10月に産声を上げ、18年6月に法人格を取得。賛同する企業人は増え、同区にキャンパスを構える関東学院大学も加わった。現在のメンバーはアドバイザーを含めて20人ほど。行政の後押しも受けながらイベント以外にも活動を広げている。

例えば新型コロナウイルス禍の時期には、小学生向けの工場見学ツアーをオンラインで開催。海の豊かさを知ってもらうと、水中ドローンを使ってリアルタイムで海中の映像を伝える「海の公園海中探検」も実施した。これらは全て、本多さんらの呼びかけにに応じたLINKAI内の事業所などが手弁当で協力して実現したものだ。

#### 持続可能な金沢へ

1960年代より造成された広大な埋め立て地に広がる市内随一の産業団地のLINKAI。20年前、当時印刷会社の社員として、この地に越してきた本多さんの胸に去来したのは寂しさだったという。

「産業の拠点にもかかわらず、夜は暗くて飲食店が少なく、にぎわいに乏しかった」。立地企業の関係の希薄化や従業員の高齢化と

「空の下でワークショップをやったら面白いのではなか。そんな発想から、地域の志のある方々、横浜市立大学の先生や学生らで集まってスタートし、今回が10回目。各ブースとも大盛況です」。代表の本多竜太さんは目を細める。

一方、継続して活動に参加している横浜市立大学、関東学院大学の学生にも好影響を与えている。団体の運営メンバーに名を連ねる関東学院大学理工学部准教授の友野和哲さんは「ここでは一足先に社会を知ることができる。学生たちは皆、本当にやって良かったと言っています」と笑顔だ。

「空の下でワークショップをやったら面白いのではなか。そんな発想から、地域の志のある方々、横浜市立大学の先生や学生らで集まってスタートし、今回が10回目。各ブースとも大盛況です」。代表の本多竜太さんは目を細める。

一方、継続して活動に参加している横浜市立大学、関東学院大学の学生にも好影響を与えている。団体の運営メンバーに名を連ねる関東学院大学理工学部准教授の友野和哲さんは「ここでは一足先に社会を知ることができる。学生たちは皆、本当にやって良かったと言っています」と笑顔だ。

「いつか地域コミュニティを創出したい。経済が回ってしまえば、Aozoraのこれからは嬉しい。例えば高齢者なら、梅宮さんは「継続できるよ。次世代を見つけてほしい」とし、友野さんは「寺子屋のように子どもが集まる場所をつくりたい」。本多さんが2人に続く。

「Aozora」は昔に置いてきた、わくわくした気持ちを思い出させてくれる。本多さんは「街を動かすのは難しいかもしれないけど